



桐唐草絵八角曲炭斗

ごあいさつ

初秋の候、皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
この度、小野美術では木具師 橋村萬象「還暦記念展」を開催させて頂く運びとなりました。

橋村家は古くは伊勢神宮で御使用の神具の三宝や檜扇を作り、後に平安遷都を機に京都へ移り有職木具師として宮中公家にお仕えし御用を承ってまいりました。その後明治になって茶道具を本格的に作り始めました。

当代橋村萬象先生は、そうしたこれまでの伝統の技術を受け継ぎながらこの時代に合った新たな意匠に取り組まれ、今回の会津での個展を含め、今後三年間に全国各地にて還暦記念展の開催を予定されています。

本展では、香合、茶器、水指、盆など茶の湯の理に合う道具の新作を用意していただいております。この機会に是非、皆様方お誘い合わせのうえ御来場くださいますようお願い申し上げます。

平成三十年九月

(有)小野美術

代表取締役 小野誠一

橋村家

橋村家は平安遷都の時、奈良より皇室の共をして京都に移住。

以後、橋村又左衛門の名で名字帯刀を許され、数十代にわたり御所禁裏御用の「有職御木具師」として幕末まで皇室の御用を賜る(檜による曲物など)。

東京遷都以後、公家の御用を賜りながら「茶器木具師」として茶道具作りを始める(主に秋田杉、吉野杉、尾州檜による曲物など)。

茶器木具師となり三代目の又左衛門が大徳寺管長より「一刀萬象」(一の刀より萬の象を作る)の名を拝受し「萬象」を名のる。

平安遷都

「有職御木具師」

橋村又左衛門

江戸時代幕末

東京遷都

「茶器木具師」

- 初代 又左衛門
- 二代 又左衛門
- 三代 又左衛門
- (後に初代萬象)
- 初代 芸誉萬象
- 二代 清岳萬象
- 当代



お支払い方法
憧れの美術工芸品のお求めには
手軽で便利な分割払い

アートローン

- ◆10回払いまで手数料サービス
- ◆60回払いまで承ります

有限会社 小野美術

いわき市平字中町22番地の2 Kビル 1F

TEL&FAX 0246-35-0383

HP <http://onobijutsu.jp>

E-mail info@onobijutsu.jp

還暦記念

木具師 橋村萬象展

会期 ■平成30年9月13日(木)〜18日(火)

午前10時〜午後5時 (最終日は午後4時閉場)

会場 ■会津アピオスペース 大会議室

会津若松インター西90番地
TEL・0242(37)2801



桂の月折撓香合



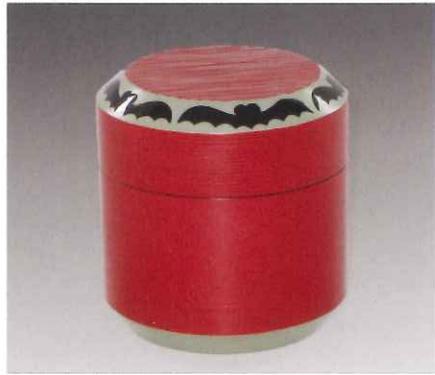
唐松唐草片木目独楽香合



ごあいさつ

この度、小野美術様のご厚意で、還暦記念展を開催させていただく運びとなりました。千年の古都、京都で代々有職御木具師として皇室の御用を賜り続けた家に生まれ、そして現在は茶器木具師としての家業を継ぎ四十年が過ぎました。これもひとえに御支援賜りました皆様方のお陰と感謝申し上げます。これからも時代に流されず、時代に添える事を考え制作して参りたいと存じます。何卒、御高覧の上、御指導賜りますようお願い申し上げます。
平成三十年九月

木具師
萬象



五福絵片木目雪吹・朱



蟹置上曲茶器



パルメット唐草曲皆具

三代橋村萬象（誠人）略歴

一九五九年 先代萬象の長男として京都に生まれ、祖父である初代萬象に師事
後に日本画家山本紅雲に師事
曲物制作に加え胡粉による置上や色絵付を手掛ける

二〇〇八年 一月橋村誠人・猪熊佳子「共奏展」を高島屋京都店にて開催
二月三代萬象を襲名

以後、各地にて個展講演会を開催
二〇一一年 三月「襲名記念橋村萬象展」を日本橋三越本店にて開催

二〇一三年 一月著書「茶の湯の曲物く木具師の仕事そのわざと美」淡交社より発行

二〇一六年 六月「作陶四十年記念 木具師 橋村萬象作品展」を日本橋三越本店にて開催

ご案内

この度、「還暦記念 木具師 橋村萬象展」を記念して「茶会」と「講演会」を下記の要領にて開催させていただきます。

茶会は橋村家歴代の作品を用いての茶会でございます。また「茶の湯曲物・木具師の仕事」と題しての講演では、萬象家の歴史、曲物・折撓の特徴等、興味深いお話が伺えるものと存じます。

どうぞこの機会に、皆様お誘い合わせの上ご来場くださいますようお願い申し上げます。

===== 講演会 =====

演題◆「茶の湯曲物・木具師の仕事」

講師◆橋村萬象先生

日時◆9月15日(土)・16日(日)

時間◆午後2時～

会場◆会津アピオスペース大会議室

=====: 記念茶会 =:====

9月13日(木) 表千家 遠藤宗麗先生

9月14日(金) 裏千家 宮崎宗洋先生
宗伊先生

9月15日(土) 表千家 大西宗敦先生

9月16日(日) 裏千家 松本宗弘先生

9月17日(月) 茶道石州流宗家会津支部
武藤宗順先生